



平成 30 年 度

専攻科学生募集要項

(入学案内を含む)

事 項		推 薦 選 抜	学 力 選 抜
願書受付期間	校長推薦	平成29年5月29日(月)～平成29年5月31日(水)	平成29年7月3日(月)～平成29年7月7日(金)
	社会人推薦		
選 抜 日	校長推薦	書 類 選 抜	平成29年 7月29日(土)
	社会人推薦		
合格発表日時	校長推薦	平成29年 6月 6日(火) 10時 ※	平成29年 8月 3日(木) 10時 ※
	社会人推薦		
入学確約書提出期限	校長推薦	平成29年 6月13日(火)	平成29年 9月15日(金)
	社会人推薦		
入学手続日		平成 30 年 3 月 14 日(水)	

※「合格通知書」は合格発表日時以降に発送します

独立行政法人 国立高等専門学校機構

北九州工業高等専門学校

NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY, KITAKYUSHU COLLEGE

〒802-0985 北九州市小倉南区志井5丁目20番1号

電 話 (093)964-7232 学生課教務係

FAX (093)964-7236 学生課

URL <http://www.kct.ac.jp>

目 次

専攻科学生募集要項

アドミッションポリシー

(「北九州高専が求める学生像」と「入学者選抜の基本方針」)	1
I 募集人員	1
II 選抜の方法及び日程	1
III 高等専門学校長の推薦による選抜	2～3
1 出願資格	
2 出願手続	
3 選抜の方法	
4 合格発表	
5 入学確約書の提出	
IV 学力検査による選抜	4～7
1 出願資格	
2 出願手続	
3 選抜の方法	
4 合格発表	
5 入学確約書の提出	
V 企業等の推薦による社会人選抜	8～9
1 出願資格	
2 出願手続	
3 選抜の方法	
4 合格発表	
5 入学確約書の提出	
VI 個人情報の取扱い	10
VII 入学手続	10
VIII その他	10
入学案内	11～15

*出願書類用紙

- 1 専攻科入学願書
- 2 写真票
- 3 受検票
- 4 検定料振込証明書貼付票
- 5 調査書
- 6 推薦書(校長推薦用、社会人選抜用)
- 7 志願承諾書
- 8 入学検定料の振込について
- 9 住所票

※出願に必要な書類は本校ウェブサイトからダウンロードして下さい。

平成30年度北九州工業高等専門学校専攻科学生募集要項

—アドミッションポリシー(入学者受け入れ方針)—

「北九州高専が求める学生像」

- ・ 高等専門学校準学士課程等における基礎的な専門知識の確立を図り、さらにその専門知識を深めようとする意欲がある者
- ・ 様々な分野の工学知識を学び、広い視野からの問題解決能力を身につけようとする向学心を持つ者

「入学者選抜の基本方針」

- ・ 調査書と学力検査により、本校の教育理念及び学習・教育目標を達成するための適性と高等専門学校準学士課程等における基礎学力を十分に持つ者を合格とする

<高等専門学校長の推薦による選抜の場合>
出身学校長が作成した推薦書及び調査書により、適性と基礎学力がともに優れた者を合格とする

<企業等の推薦による社会人選抜の場合>
所属する企業等の長から提出された推薦書及び出身学校長が作成した調査書により、適性と基礎学力がともに優れた者を合格とする

<学力による選抜の場合>
調査書と学力検査により、適性と基礎学力がともに優れた者を合格とする

I 募集人員

生産デザイン工学専攻 35名

II 選抜の方法及び日程

1. 高等専門学校長の推薦による選抜(20名程度)
2. 学力による選抜(15名程度)
3. 企業等の推薦による社会人選抜(若干名)

選 抜 区 分		選 抜 期 日	選 抜 人 数
推 薦	校 長 推 薦	書 類 選 抜	20名程度
	社 会 人 選 抜	書 類 選 抜	若干名
学 力 検 査		平成29年7月29日(土)	15名程度

Ⅲ 高等専門学校長の推薦による選抜

1. 出願資格

平成 30 年 3 月に高等専門学校を卒業見込みの者で学校長が成績及び人物ともに優れていると認め、推薦する者

2. 出願手続

(1) 願書受付

ア. 受付期間 平成 29 年 5 月 29 日(月)から平成 29 年 5 月 31 日(水)までとする。

郵送の場合は、5 月 31 日(水)16 時必着とする。

イ. 受付時間 9 時から 16 時までとする。

ウ. 提出先 北九州工業高等専門学校 学生課教務係

〒 802 - 0985 北九州市小倉南区志井 5 丁目 20 番 1 号

電 話(0 9 3)9 6 4 - 7 2 3 2

(受付期限を過ぎたものは、一切受け付けない。)

(2) 出願に必要な書類等

ア. 入 学 願 書 本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。

イ. 写真票・受検票 本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付する。

写真は、上半身・正面向き・脱帽・無背景(縦 4.5cm×横 3.5cm)で、

出願以前 3 か月以内に撮影したもの。

ウ. 調 査 書 本校所定の用紙により、在籍学校長が作成し、厳封したもの。

エ. 推 薦 書 本校所定の用紙により、在籍学校長が作成し、厳封したもの。

オ. 住 所 票 「合格通知書」等を送付するためのもので、本校所定の用紙にその通知を受ける住所、氏名、郵便番号を記入したもの。

カ. 検 定 料 16,500 円

銀行または郵便局(ゆうちょ銀行)の窓口において振込のうえ、受付日付のある「振込受付証明書」または「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」を必ず受け取り、「検定料振込証明書貼付票」の所定の位置に貼付すること。

キ. 返 信 用 封 筒 受検票の郵送を希望する場合は、あて先及び郵便番号を記入し、

392 円分の切手を貼った定形封筒(長型 3 号)を提出すること。

ク. そ の 他 日本国内に在住する外国人は、市町村長の発行する「住民票の写し」を提出すること。

※出願に必要な書類は本校ウェブサイトからダウンロードして下さい。

(3)出願に関する注意事項

- ア. 出願書類の不備なものは受け付けない。
- イ. 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがある。
- ウ. 出願書類等受理後は、記載事項の変更、書類の返還及び検定料の払い戻しは一切行わない。

3. 選抜の方法

推薦入学者の選抜は、在籍学校長から提出された推薦書及び調査書の内容を総合して書類選抜で行う。

4. 合格発表

平成 29 年 6 月 6 日(火)10 時

本校に掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を上記日時以降に発送します。

また、本校ウェブサイトにも掲載します。(合格発表日の 10 時頃を予定。当日の通信環境の状況等により遅れる場合があります。)

<http://www.kct.ac.jp>

なお、電話等による合否の問い合わせには応じない。

5. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、**平成 29 年 6 月 13 日(火)(16 時必着)**までに「入学確約書」を必ず提出すること。

なお、期限までに提出しない者には、入学を許可しない。

IV 学力検査による選抜

1. 出願資格

- (1)平成 30 年 3 月北九州工業高等専門学校を卒業見込みの者
- (2)北九州工業高等専門学校を卒業した者
- (3)高等専門学校を卒業した者又は平成 30 年 3 月高等専門学校を卒業見込みの者
- (4)短期大学を卒業した者又は平成 30 年 3 月短期大学を卒業見込みの者
- (5)高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）の専攻科の課程を修了した者又は平成 30 年 3 月修了見込みの者のうち学校教育法第 58 条の 2（同法第 70 条第 1 項及び第 82 条において準用する場合を含む。）の規定により大学に編入することができる者
- (6)専修学校の専門課程を修了した者又は平成 30 年 3 月専修学校の専門課程を修了見込みの者のうち学校教育法第 132 条の規定により大学に編入学することができる者
- (7)外国において、学校教育における 14 年の課程を修了した者
- (8)外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了した者
- (9)我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (10)その他本校専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※ 出願資格(2)～(10)で出願しようとする者は、出願資格等について確認をしますので、必ず事前に本校学生課教務係まで電話等により照会してください。

2. 出願手続

(1)願書受付

ア. 受付期間 **平成 29 年 7 月 3 日(月)から平成 29 年 7 月 7 日(金)までとする。**

郵送の場合は、7 月 7 日(金)16 時必着とする。

イ. 受付時間 **9 時から 16 時までとする。**

ウ. 提出先 北九州工業高等専門学校 学生課教務係

〒802 - 0985 北九州市小倉南区志井 5 丁目 20 番 1 号

電 話(0 9 3)9 6 4 - 7 2 3 2

(受付期限を過ぎたものは、一切受け付けない。)

(2)出願に必要な書類等

ア. 入 学 願 書 本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。

イ. 写真票・受検票 本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付する。
写真は、上半身・正面向き・脱帽・無背景(縦 4.5cm×横 3.5cm)で、
出願以前 3 か月以内に撮影したもの。

- ウ. 調 査 書 本校所定の用紙により、出身(在籍)学校長が作成し、厳封したもの。
ただし、出願資格(7),(8),(9)により出願する者は、資格にかかる最終学校の成績証明書をもって代える。
- エ. 住 所 票 「合格通知書」等を送付するためのもので、本校所定の用紙にその通知を受ける住所、氏名、郵便番号を記入したもの。
- オ. 検 定 料 16,500 円
銀行または郵便局(ゆうちょ銀行)の窓口において振込のうえ、受付日付のある「振込受付証明書」または「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」を必ず受け取り、「検定料振込証明書貼付票」の所定の位置に貼付すること。
- カ. 返 信 用 封 筒 受検票の郵送を希望する場合は、あて先及び郵便番号を記入し、392 円分の切手を貼った定形封筒(長型 3 号)を提出すること。
- キ. 志 願 承 諾 書 本校所定の用紙により、所属長が作成したもの。**(企業等に在職のまま入学を希望する者のみ)**
- ク. 英語能力試験の成績書等 下記①～⑤のいずれか 1 つの**原本**を提出すること。(原本は後日返送します。)
① 「TOEIC 公開テスト」のスコアシート
② 「TOEIC IP テスト」のスコアシート
③ 「TOEIC Listening & Reading 公開テスト」のスコアシート
④ 「TOEIC Listening & Reading IP テスト」のスコアシート
⑤ 実用英語技能検定準 2 級以上の合格証明書
ただし、①～④のスコアシートの有効期間は、学力試験日からさかのぼって 2 年以内のものとする。
- ケ. そ の 他 日本国内に在住する外国人は、市町村長の発行する「住民票の写し」を提出すること。

※出願に必要な書類は本校ウェブサイトからダウンロードして下さい。

(3)出願に関する注意事項

- ア. 出願書類の不備なものは受け付けない。
- イ. 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがある。
- ウ. 出願書類等受理後は、記載事項の変更、書類の返還及び検定料の払い戻しは一切行わない。

3. 選抜の方法

入学者の選抜は、学力検査、出身(在籍)学校長から提出された調査書の内容を総合して行う。

(1) 学力検査

ア. 英語(英語能力試験成績の評価)

提出された、「TOEIC 公開テスト・IP テスト」・「TOEIC Listening & Reading 公開テスト・IP テスト」の成績または実用英語技能検定の成績を下記のとおり評価する。

- ① 「TOEIC 公開テスト・IP テスト」・「TOEIC Listening & Reading 公開テスト・IP テスト」のスコアシートを提出した者の評価

TOEIC スコアが 200 点までは 0 点、200 点を越える場合、200 点を越える部分に 0.3 を乗じ、小数点以下を四捨五入し 100 点を上限として算出する。

英語の得点：【TOEIC のスコア－200】×0.3(点)

- ② 実用英語技能検定の合格証明書を提出した者の評価

準 2 級の合格者を、70 点、2 級以上の合格者を、100 点とする。

イ. 専門科目

口頭試問とし、次表のとおり実施する。I～VIの選択科目群より 1 つの群を選択すること。

選択科目群	出題科目(範囲)
I 群 (機械系)	材料力学、機械工作法、熱力学、水力学
II 群 (電気系)	電気回路、電気磁気学
III 群 (情報と制御系)	情報工学、制御理論、電気回路、電子回路
IV 群 (機械と制御系)	情報処理(プログラミング)、制御工学、材料力学、水力学、熱力学
V 群 (物質化学系)	物理化学、化学工学、無機化学、有機化学
VI 群 (生物系)	物理化学、化学工学、生物化学、生物工学

※出題科目の中で数学の力を評価する。

ウ. 配点

英語を 100 点満点、専門科目を 300 点満点とする。

(2)選抜日時

期 日	科 目 等	時 間
平成 29 年 7 月 29 日(土)	学力検査 (口頭試問)	9 時 30 分 ~

※開始 30 分前までに本校の指定する場所に集合すること。

※口頭試問は 1 人あたり 40 分程度

(3)選抜場所

北九州工業高等専門学校

4. 合格発表

平成 29 年 8 月 3 日(木) 10 時

本校に掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を上記日時以降に発送します。

また、本校ウェブサイトにも掲載します。(合格発表日の 10 時頃を予定。当日の通信環境の状況等により遅れる場合があります。)

<http://www.kct.ac.jp>

なお、電話等による合否の問い合わせには応じない。

5. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、平成 29 年 9 月 15 日(金)(16 時必着)までに「入学確約書」を必ず提出すること。なお、期限までに提出しない者は、入学を許可しない。

V 企業等の推薦による社会人選抜

1. 出願資格

高等専門学校を卒業した者で、所属する企業等の長が勤務成績及び人物ともに優れていると認め、推薦する者

2. 出願手続

(1) 願書受付

ア. 受付期間 平成 29 年 5 月 29 日(月)から平成 29 年 5 月 31 日(水)までとする。

郵送の場合は、5 月 31 日(水)16 時必着とする。

イ. 受付時間 9 時から 16 時までとする。

ウ. 提出先 北九州工業高等専門学校 学生課教務係
〒802 - 0985 北九州市小倉南区志井 5 丁目 20 番 1 号
電話(0 9 3)9 6 4 - 7 2 3 2

(受付期限を過ぎたものは、一切受け付けない。)

(2) 出願に必要な書類等

ア. 入学願書 本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。

イ. 写真票・受検票 本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付する。
写真は、上半身・正面向き・脱帽・無背景(縦 4.5cm×横 3.5cm)で、
出願以前 3 か月以内に撮影したもの。

ウ. 調査書 本校所定の用紙により、出身学校長が作成し、厳封したもの。

エ. 推薦書 本校所定の用紙により、企業等の所属の長が作成し、厳封したもの。

オ. 住所票 「合格通知書」等を送付するためのもので、本校所定の用紙にその通知
を受ける住所、氏名、郵便番号を記入したもの。

カ. 検定料 16,500 円

銀行または郵便局(ゆうちょ銀行)の窓口において振込のうえ、受付日付のある「振込受付証明書」または「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」を必ず受け取り、「検定料振込証明書貼付票」の所定の位置に貼付すること。

キ. 返信用封筒 受検票の郵送を希望する場合は、あて先及び郵便番号を記入し、392 円分の切手を貼った定形封筒(長型 3 号)を提出すること。

※出願に必要な書類は本校ウェブサイトからダウンロードして下さい。

(3) 出願に関する注意事項

ア. 出願書類の不備なものは受け付けない。

イ. 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがある。

ウ. 出願書類等受理後は、記載事項の変更、書類の返還及び検定料の払い戻しは一切行わない。

3. 選抜の方法

社会人推薦入学者の選抜は、企業等の所属の長から提出された推薦書及び調査書の内容を総合して書類選抜で行う。

4. 合格発表

平成 29 年 6 月 6 日(火)10 時

本校に掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を上記日時以降に発送します。

また、本校ウェブサイトにも掲載します。(合格発表日の 10 時頃を予定。当日の通信環境の状況等により遅れる場合があります。)

<http://www.kct.ac.jp>

なお、電話等による合否の問い合わせには応じない。

5. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、**平成 29 年 6 月 13 日(火) (16 時必着)**までに「入学確約書」を必ず提出すること。

なお、期限までに提出しない者は、入学を許可しない。

VI 個人情報の取扱い

入学志願者から提出された志願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1)入学後の教育・指導
- (2)入学料、授業料免除申請の審査
- (3)奨学金申請の審査
- (4)本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

VII 入学手続

入学手続は次により行うが、詳細については合格者に別途通知する。

- (1) 日 程 平成 30 年 3 月 14 日(水)
- (2) 場 所 北九州工業高等専門学校
- (3) その他 所定の日時内に入学手続きを完了しない者は、入学を許可しない。

VIII その他

募集要項に関して不明な点は、下記まで書面、F A X又は電話で照会すること。

〒802 - 0985 北九州市小倉南区志井 5 丁目 2 0 番 1 号

北九州工業高等専門学校 学生課教務係

電 話(0 9 3)9 6 4 - 7 2 3 2

F A X(0 9 3)9 6 4 - 7 2 3 6

なお、書面、F A Xの場合は、連絡先の電話番号を記載しておくこと。

入 学 案 内

1. 設 置

平成 8 年 4 月

2. 専攻科の目的

本専攻科は、高専の卒業生を主たる対象として、これに外国からの留学生を加え、2 年間の工業技術教育を行い、大学の学部卒とは異なった複合型の専門性を身に付けさせ、創造的な技術開発能力を持った技術者の育成を目的とする。

3. 専攻名及び入学定員

生産デザイン工学専攻 35 名

4. 修業年限及び修了要件

- (1) 修業年限 2 ヶ年
- (2) 修了要件 62 単位以上修得

5. 専攻科の特色

(1) 創造的技術開発能力を持った複合型の技術者育成

技術の高度化、情報化、国際化の進展に伴い、産業界からは、創造的技術開発能力を持った技術者が多く求められるようになってきた。そこで、これまで高等専門学校で修得してきた実践的技術の上に、幅広い高度な専門基礎知識を身に付けさせ、独創的技術開発能力の育成を図るとともに、情報処理と語学力を重視して教育を行う。

(2) 国際化に対応できる技術者の育成

国際社会で活躍できる人材を育成するため、英会話と英作文に重点を置いた実践的な語学教育を行うとともに、技術者として国際的に通用し得る教養を身に付けさせる。

(3) 協調性と指導力のある技術者の育成

最近の技術開発等の活動は、チームワークとして行われることが多い。そこで、これからの技術者は、優れた技術力を持つと同時に協調性や指導力を持つことが極めて大切になってくる。協調性や指導力を持った技術者育成を目指し、幅広い視野と知識を修得させるため、人文社会系の総合科目を積極的に取り入れた人間教育を行う。

6. 「生産デザイン工学」教育プログラム

北九州工業高等専門学校では、「明るい未来を創造する開拓型エンジニアの育成」を目的として、本科4年次から専攻科2年次までを対象に「生産デザイン工学」教育プログラムを設定し、技術者教育を行っている。この教育プログラムは、日本技術者教育認定機構(JABEE)の認定を受けたもので、下記のA～Gを学習・教育目標に掲げている。

A 技術内容の高度化に対応できる基礎学力(数学、自然科学、情報)と自己学習能力を持つ技術者

- ①数学・物理・化学などの自然科学、情報技術に関する共通基礎を理解できる。
- ②自主的・継続的な学習を通じて、共通基礎科目に関する問題を解決できる。

B 専攻分野の「生産」に関わる専門知識を身に付けた技術者

- ①共通基礎知識を用いて、専攻分野における設計・製作・評価・改良など生産に関わる専門工学の基礎を理解できる。
- ②自主的・継続的な学習を通じて専門工学の基礎科目に関する問題を解決できる。

C 専門工学知識の上に「生産」に関わる実践的技術を身に付けた技術者

- ①専門工学の実践に必要な知識を深め、実験や実習を通じて、問題解決の経験を積む。
- ②機器類(装置・計測器・コンピュータなど)を用いて、データを収集し、処理できる。
- ③実験結果から適切な図や表を作り、専門工学知識をもとに分析し、結論を導き出せる。
- ④実験や実習について、方法・結果・考察を的確にまとめ、報告できる。

D 幅広い視野から問題を捉え、複数分野の工学知識・技術を有機的に結び付け、総合的に問題を解決する素養(デザイン能力)を有する技術者

- ①専攻分野における専門工学の基礎に関する知識と基礎技術を総合し、応用できる。
- ②専攻分野の専門性に加え、他分野の知識も学習し、幅広い視野から問題点を把握できる。
- ③要求された課題に対して幅広い視野で問題点を把握し、その解決方法を提案できる。
- ④工学知識や技術を統合し、課題解決のための調査や実験を自発的に計画し、遂行できる。
- ⑤工学知識や技術を統合し、課題解決のための結果の整理・分析・考察・報告ができる。

E 多様な文化を理解する能力を持ち、日本語および外国語によるコミュニケーション能力を有する技術者

- ①歴史・文化・日本文学(国語)・外国語を学び、多様な文化を理解できる。
- ②実験・実習・調査・研究内容について、日本語で論理的に記述し、報告・討論できる。
- ③専攻分野の技術英文を含め、英文を読解し、日本語での内容説明ができる。
- ④調査・研究の目的と内容を理解した上で、その概要を英語で記述できる。
- ⑤英語による基本的な会話ができる。

F 歴史・文化・社会に関する教養と頑健な心身を持ち、技術の社会・環境との関わりを考えることのできる技術者

- ①歴史・文化・社会に関する知識を持ち、それらを示すことができる。
- ②工業技術と社会・環境との関わりを理解し、社会・環境への効果と影響を説明できる。
- ③技術者としての役割と責任(倫理観)を認識し、説明できる。

G 多様性のあるチームの中で、成果を上げるために行動できる技術者

- ①メンバーとして、自己のなすべき行動を判断し実行できる。
- ②リーダーとして、他者の取るべき行動を判断し、適切に行動させるように働きかけることができる。

専攻科の入学者は全員この教育プログラムの履修対象者となるので、専攻科に入学する前に、高等専門学校本科などの教育機関において2年間の学習が必要である。教育プログラム修了のためにはこの間に修得した科目が同プログラムの求める基準を満たしていなければならない。そのため他校からの入学者に対してはシラバスや成績証明書等により履修科目の内容、学習時間を確認し、それらに不足が認められ、本校専攻科の開講科目だけでは同プログラムの求める基準を達成できないと判断された場合は、本校に入学後、補講、学力試験などを受け学力の認定を得る必要がある。専攻科入学前の履修状況に関する原則的な基準は次のとおりとする。

【履修基準】

高専4、5年、短大などの高等教育機関に2年間以上在籍し、そのうえで下記の(1)~(8)を満たしていること。

- (1)この間に66単位以上の科目を修得し、本校教育プログラムの求める基準を満たしていること。
- (2)入学する学科の専門分野の科目の単位を北九州高専4年、5年の課程と同程度以上修得していること。
- (3)人文・社会系科目を5単位以上修得していること。
- (4)保健体育系科目を2単位以上修得していること。
- (5)語学に関する科目を4単位以上修得していること。
- (6)数学・自然科学系科目を6単位以上修得していること。
- (7)実験を5単位以上修得していること。
- (8)卒業研究の単位を修得していること。

(注) この基準に満たない場合、また不明な点などがありましたら本校にお問い合わせください。

「生産デザイン工学」教育プログラムの詳細については本校ホームページを参照ください。

本校では、50分を1単位時間とし、30単位時間の授業を1単位としています。

7. 専攻の内容

社会情勢、産業構造や工業技術が劇的に変化し続ける現代、これまで以上に、融合複合領域に対応できる幅広い視野と高い課題設定・解決能力を持ち、地域及びグローバルに連携・協働できる、実践的かつ創造的技術者の養成が求められています。

このような社会的・地域的要請に応えるため、本校専攻科では、専門工学の深化とともに、これからのモノ作りに必要とされる【高度融合複合教育】を実施します。

カリキュラムは、特別研究等の実験・実習系科目、基礎科学系科目、地域・グローバル対応科目である社会系・語学系科目、社会的ニーズと北九州の地域性を考慮しており、生産を通じて環境技術・資源活用・素材開発などの持続可能型社会を可能にする生産技術について学ぶ「A：環境・資源・材料」領域、その応用機器・利用技術・創生技術について学ぶ「B：エネルギー応用・創生」領域、生産による新たな価値の創出をデザインするとの観点から、その機能と設計などについて学

ぶ「C:機能・情報デザイン」領域の3つの重点学修領域科目と専門選択科目等から構成されています。

リソースからプロダクト、さらにそのリサイクルまで含めた「循環型生産」の各ステージにおける技術を融合・複合の観点から学び、広い視野から問題をとらえ解決することのできる融合・複合技術に秀でたスペシャリストの育成を行います。

8. 学士の学位の取得方法

本校の専攻科を修了し、一定の条件を満たした者については、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の行う審査を受けて、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた場合に、学士(工学)の学位を取得できます。

9. 入学時に必要な諸経費(予定額)

入 学 料 84,600 円

授 業 料 117,300 円(年額 234,600 円のうち前学期分)

※上記の納付金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

教 科 書 別途指示します。

教育後援会費 31,000 円

10. 奨 学 金 制 度

独立行政法人日本学生支援機構法に基づき、学業・人物が優れ、健康であり学資支弁困難と認められる者に対しては、選考の上、奨学金が貸与される。(貸与月額は、平成30年度分です。)

第 一 種 奨 学 金 (無 利 子)	貸 与 月 額		
	自 宅 通 学	4 5 , 0 0 0 円	3 0 , 0 0 0 円
	自 宅 外 通 学	5 1 , 0 0 0 円	

第 二 種 奨 学 金 (有 利 子)	貸与月額
	3 0 , 0 0 0 円
	5 0 , 0 0 0 円
	8 0 , 0 0 0 円
	1 0 0 , 0 0 0 円
1 2 0 , 0 0 0 円	

このほかに、県、市及び財団法人等による奨学金制度が数種ある。

11. 入学料、授業料の免除制度等

(1)次の場合には、入学料免除の申請ができる。

ア. 入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡し、又は学資負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納付が困難と認められる場合

イ. 前号に準ずる場合であって、校長が相当と認める事由がある場合、全額又は半額を免除される。

(2)次の場合には、授業料免除の申請ができる。

ア. 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合

イ. 入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納付が困難と認められる場合

ウ. 前号に準ずる場合であって、校長が相当と認める事由がある場合、全額又は半額を免除される。

(3)次の場合には、入学料徴収猶予の申請ができる。

ア. 経済的理由によって納付期限までに納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合

イ. 入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学手続き終了の日までに納付が困難であると認められる場合

ウ. その他やむを得ない事由があると認められる場合